

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

国家公務員共済組合連合会 呉共済病院

(2) 事業所の所在地

広島県呉市西中央2丁目3-28

(3) 業種

8311、一般病院

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21年度を基準年度とし、令和元年度から令和5年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当院は、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、接続可能な社会づくりに貢献します。特に、地球温暖化防止については省エネルギー活動を推進し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2 方針

- ・省エネルギー、省資源の推進
- ・省エネ機器の導入
- ・廃棄物の排出抑制、リサイクルの推進
- ・環境保全活動への積極的な参加
- ・職員への啓蒙活動と環境教育の実施

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成21年度	令和元年度
二酸化炭素	6,130	4,556

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	令和 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	令和 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC) (PFC) (SF6) (NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成21年度)	削減目標		目標年度 (令和5年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	6,130	5.0	307	5,823
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2							
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	重油使用量の削減	重油使用量を1%削減	温水ヒーターの定期整備の実施と効率的運転
2	電気使用量の削減	電気使用量を1%削減	LED照明の導入と不在時の小まめな消灯 空調設備の適正管理 コージェネレーションシステムの運用管理
3	都市ガス使用量の削減	都市ガス使用量を1%削減	空調設備の適正管理 コージェネレーションシステムの運用管理 高効率空調機器の導入
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

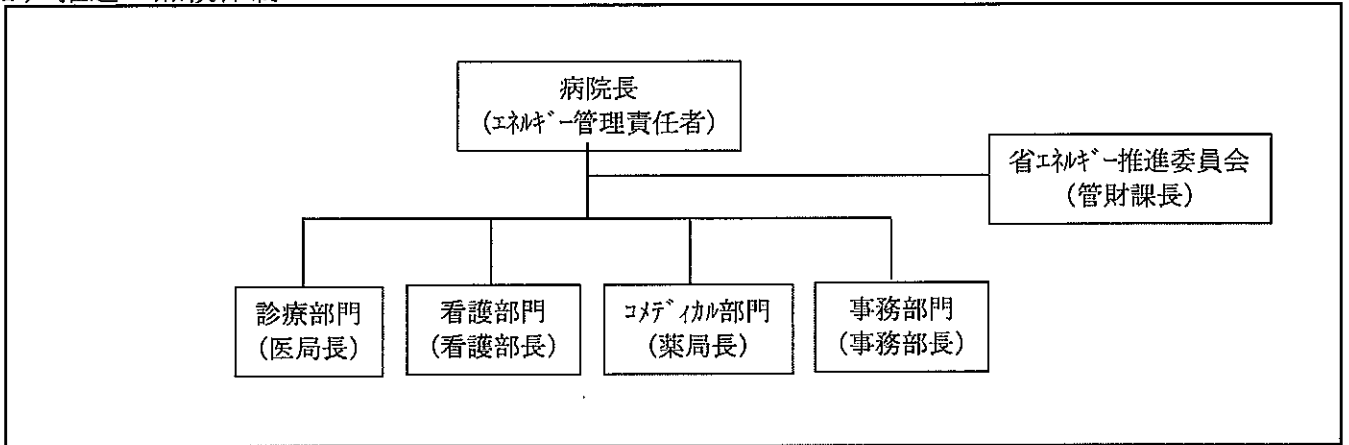
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減		両面コピーの励行 雑用紙としての再利用
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

管財課を中心として、毎月の各種エネルギー使用量を集計し、対前年使用量との比較等の検証を行う。結果について、温室効果ガス削減計画に基づき評価と見直しを行う。

(3) 計画書等の公表

毎月のエネルギー使用状況・推移について、管理者会議や診療科長等会議、全員参加の朝礼で報告する。